

山梨大学 発 ストップ温暖化行

概要

—走れ！みんなのBDFバス— 循環ガールズ☆

BDFを使用したディーゼル車は、走行性能が軽油とほぼ同じで、排気ガスにはSOxがほとんど含まれず、黒煙の量も軽油に比べると少ないので、大気汚染を軽減することができます。また、原料となる廃食用油は、甲府キャンパス内の学生食堂や附属小学校・養護学校の給食などで使用済みとなった植物性油を使っているため、コストも抑えることができます。

バイオディーゼル燃料(BDF)



廃食用油から



綺麗な燃料に！

特色や期待される効果

1. 全学科を対象とした自発的教養科目として開講。
2. 資源循環型ものづくり教育を体験できる。
3. 大学レベルで二酸化炭素の排出抑制に貢献できる。
4. 学内ISOにおける環境教育だけでなく、一般(小中高生や市民)を対象とした公開講座や公開展示などの社会貢献が可能となる。

初の大学での取り組み

BDFの利用は、京都市など自治体レベルでの取組が現在行われつつあります。山梨県では「コープやまなし」が廃食用油の回収と普及に努めています。北杜市や山梨市では導入を検討しています。大学レベルでのBDF導入は山梨大学が初めてであり、世界的に見ても先進的な取組です。

各主体との連携

- * 大学側からのバックアップにより附属学校園や大学生協から廃油回収についての協力が得られている。
- * 学内ISO14001委員会と協力をする関係である。
- * 給食施設と廃油を必要とする私たちとの間で、需要と供給の相互関係がうまく成り立っている。
- * BDF精製実験に参加する学生の数も年々増えており、新しい取り組みや連携の可能性が大きくある。



BDF燃料が運行中～♪

廃食用油をリサイクルしたBDFを使用して、甲府キャンパスと医学部キャンパスを結ぶシャトルバスが、平成18年4月より運行を開始しています。